

**あちこちのお店で、
さりげなく見守る。**

市内には、地域に根差してお客様の様子をさりげなく見守っているお店がたくさんあります。今回は、その中の5店に、日頃の見守りについてお話を伺いました。

さりげない見守りが、まるで「まちの保健室」

——西川商店

魚や野菜、惣菜やお弁当まで、なんでもそろう西川商店。50年程続くこの店は、長い間赤目地域の食を支えてきました。お客様のほとんどは近所の人で、顔を見れば、だいたいどの誰かが分かります。買い物を終えても、店で一時間近く話をしていく人もいます。「雑談をして、すつきりして帰っててくれるんかもね」と西川洋子さん。毎日来ていた人の姿が見えなくなると近所の人に様子を聞いたり、介護の相談を受けてケアマネジャーにつないだ



西川 洋子さん 博さん

まるで、暮らしの悩みや心配事を気軽に相談できる「まちの保健室」のようなお店です。「元気なうちはずっと続けたい」と話す洋子さん。日々のさりげない見守りとサポートが、たくさんのお客さんを支えています。

必要以上の購入を止めるため
に「もうこの商品はないよ」と伝えたり、購入日時を控えておいたり。「見守りなんてしてないよ」と言いながらも、

A photograph showing an elderly woman with short grey hair and glasses, wearing a blue sweatshirt, smiling and handing a meal in a box to a man in a blue jacket. The background shows a cluttered shop interior.

お客様の日常の中に、いつもあるお店でいたい

——パン屋「ごきめ



店主 山崎 将人さ

「ハ、ほ田さん、食事で食べる物なので、パン屋への買い物は日常の一部。皆さんの日常生活にいつもあるお店でござりますね」と優しく笑う山崎さん。日々の営業の中でお客さんの様子に気づく」とも、何気なし見守りの一つだか。

時、たまたま来店した息子さんに『お父さん、どうしてる?』と聞いたことがきっかけで、後日、常連さん本人が顔を見せに来てくれたこともありますね」と話します。

A medium shot of a man from the waist up. He is wearing a light grey, short-sleeved t-shirt. He is smiling broadly and holding a large, round loaf of bread with both hands, presenting it towards the camera. The background is plain white.

田] として期待されるのが、地域に根差すお店の皆さんです。

市ではこれまで、地域住民やまちの保健室、民生委員・児童委員などによる見守りや声かけの活動を進めてきました。さらに新聞配達や宅配など、日々いろいろから家庭を訪問する事業者にも協力いただき、異変に気づいたときには地域包括支援センターへついでいただく仕組みも整えています。

一人暮らしの高齢者が増える中で、「いつもと違う」に気づく見守りは、これまで以上に大切になっています。買い物や散歩の途中に、ちょっと顔を合わせて「元気?」と声をかけ合える。そんなつながりがあると、抱えている不安や心配事、心身の不調などにも、いち早く気がつくことができます。

を支える「見守り」です。かける人があちこちにこれが、「なんとなるばりです。」の口「が表の姿であります。

「あの人、最近来ていないな……」
「常連さん、今日はなんだか元気がなさそう。

す名張の姿であります。

文ねす何友ない会話や わざいな友一
か、実は暮らしを支える「見守り」です。
ちょっと気にかける人があちこちに
いるまち。これが、「なんとかなる

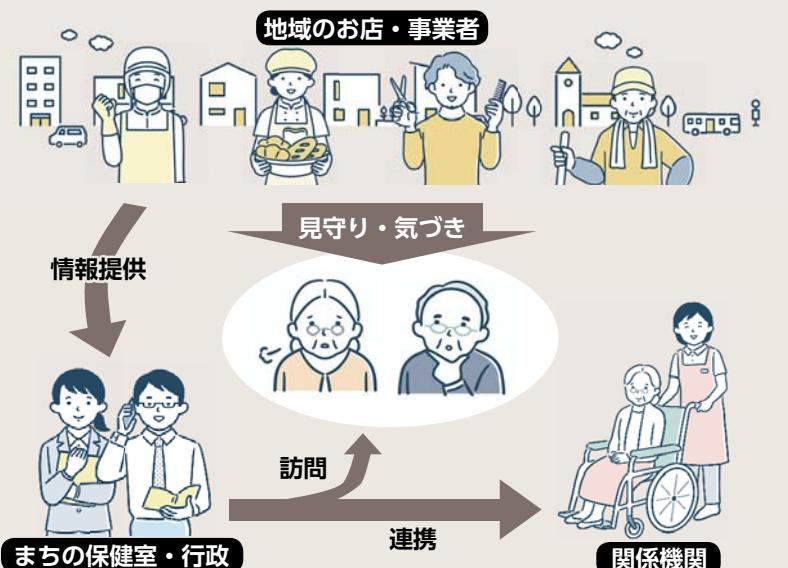
1

広報なばり 2026.

まちのあちこちに、
「見守りの目」を増やそう。

地域の商店や企業は、買い物やサービスを通して、毎日の暮らしを支える“まちの基盤”です。お客様の身体の変化や、いつもと違う様子にいち早く気づける場所もあります。

市では、お店の皆さんからの「気になる」情報を関係機関につなぎ、地域全体で安全・安心を支える「地域の見守り活動」の体制づくりを整えていくため、「地域の見守り活動推進事業」を進めています。



「何をしたらいいか分からない」という人はぜひご参加を！

地域の見守り活動推進事業 キックオフセミナー

日時 1月 29 日(木) 10:00 ~ 11:30

場所 防災センター

内容 事業の概要説明、地域の見守り活動の事例紹介、

可能性指向を学ぶワークショップ

講師 慶應義塾大学大学院 堀田聰子教授

対象 地域の見守り活動推進事業の登録者など

定員 50人

申込 1月 22 日(木)までに、

申込フォームから申込



問 地域包括支援センター ☎ 63-7833

あなたのお店も、 「見守りの目」になってほしい。

住民の生活基盤である商店や企業の皆さんにお願いです。お客様の身体の異変や認知症によるひとり歩き、虐待を疑うような「いつもと違う」様子に気づいた時に、営業に支障のない範囲で、地域包括支援センターへ情報を提供いただけませんか？

ご協力いただける場合は、市HPにある登録フォームから申請をお願いします。登録いただいた協力店は、市HPでご紹介します。

問 地域包括支援センター ☎ 63-7833

市 HP



認知症の人でも、安心して買い物に来られるお店に

——マックスバリュ名張店

24時間営業のマックスバリュ名張店には、午前は高齢者、午後は子育て世帯、夜間は仕事帰りの人など、一日を通してさまざまなお客様が訪れます。一日に約3千人訪れるお客様を、従業員の皆さんは、接客の中で自然に見守っています。

「従業員のほとんどが認知症サポート」。店内で同じ場所を行ったり来たりする人に「何かお探しですか？」と優しく声をかけたり、未精算の商品を店外へ持ち出そうとする人には「お買い上げされますか？」と声をかけたり、配慮が必要な人にもしっかりと寄り添った対応を心がけています」と話すのは、店長の伊藤弦さん。「迷惑行為として入店を制限することもできますが、そうではなく、認知症の人でも安心して買い物できる店にしたいと思っています」。多くの人が利用するお店だからこそ、さりげない見守りが、安心につながっています。



店長 伊藤 弦さん

毎日の「お届けです」が、 安否を確かめる合図

——まごころ弁当 名張店



オーナー 永井さん

気楽に集まってお話しする 「サロン」のようなお店

——市内のある美容室



住宅街のとある美容室ではなく、地域の高齢者が気軽に集まる「サロン」のような場所です。営業のように髪を切るだけの場所ではなく、地域の高齢者がお弁当を持って集まってきて、店内でおしゃべりしながら食事をするのは、いつもの光景。常連さんや近所の人たちで、月に一回、近くの喫茶店で食事会をするのも恒例です。「近所の皆さんのが集まって、楽しくおしゃべりしてくれているのが嬉しい」と店主さんは笑顔で話します。

通りに面したガラス張りの店からは、外の様子もよく見えます。パジャマ姿で歩いている人や、一人で歩いている認知症の高齢者がおしゃべりしながら食事をするのを見るのは、いつもの光景。常連さんや近所の人たちで、月に一回、近くの喫茶店で食事会をするのも恒例です。「近所の皆さんのが集まって、楽しくおしゃべりしてくれているのが嬉しい」と店主さんは笑顔で話します。

通りに面したガラス張りの店からは、外の様子もよく見えます。パジャマ姿で歩いている人や、一人で歩いている認知症の高齢者がおしゃべりしながら食事をするのを見るのは、いつもの光景。常連さんや近所の人たちで、月に一回、近くの喫茶店で食事会をするのも恒例です。「近所の皆さんのが集まって、楽しくおしゃべりしてくれているのが嬉しい」と店主さんは笑顔で話します。

通りに面したガラス張りの店からは、外の様子もよく見えます。パジャマ姿で歩いている人や、一人で歩いている認知症の高齢者がおしゃべりしながら食事をするのを見るのは、いつもの光景。常連さんや近所の人たちで、月に一回、近くの喫茶店で食事会をするのも恒例です。「近所の皆さんのが集まって、楽しくおしゃべりしてくれているのが嬉しい」と店主さんは笑顔で話します。

市民ワークショップで ブランドロゴの活用方法を検討中！

2023年に市民参加のもとで作成したブランドロゴ「なんとかなるなる。なばりです。」。ロゴに込められた「名張は困ったことがあっても、お互いの助け合いで『なんとかなる』まちなんだ」という想いを広げるために、市民ワークショップで、4つのグループに分かれて活用方法を検討しています。

ポスター



作成中



市民から集めた「なんとかなるなる。なばりです。」エピソードをもとに四コマ漫画ポスターを作成中

案内所



「なんとかなるなるの木(仮称)」や「なんとかなるなる案内所(仮称)」を作成し、市役所ロビーに設置

ゲーム



名張でなんとかなったエピソードを元にカードゲームを試作。イベントで試しながら正規版を検討中

動画



名張の新たなヒーロー「なんとかなるなるマン」のショートドラマを制作し、市のSNSで公開

高齢者向けの配食サー

ビスとして、市内の高齢者世帯を中心に、昼と夜あわせて一日百食ほどのお弁当を届けている、ま

ごろ弁当名張店。手渡しで配達する利用者が多

いです。

く、「こんちは、今日は

おわせ

て一日百食ほどの

お弁当を届けている、ま

あわせ

て一日百食ほどの